## 【OIE 情報】イギリスにおける牛海綿状脳症(BSE)の発生について

イギリスにおける牛海綿状脳症(BSE)の発生について、OIEへ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

なお、イギリスから輸入される牛肉等については、食品安全委員会によるリスク評価結果を踏ま え、条件が設定されています。

出典:OIEウェブサイト

・疾病発生状況(2016年3月25日付け)

http://www.oie.int/wahis\_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=28331

• BSEリスクステータス

http://www.oie.int/animal-health-in-the-world/official-disease-status/bse/lossreinstatement-of-status/

(OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。)

### 【概要】

発生数: 1件(緊急報告)発生日: 2018年10月2日

・0IEへの報告日:2018年10月19日

### 【発生状況】

・スコットランド

【動物種】	【感受性動物数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	1	1	1	0	0

- ・ アバディーンシャー地方において、5歳牛がBSEの単発症例と診断された。
- ・ 当該動物は農場で死亡し、死亡牛を対象に実施される検査により陽性が判明した。
- ・食肉に供される牛ではなく、食品流通網には入らなかった。そのことから、人間の健康被害の恐れはない。
- 当該牧場の他4頭に対し、予防的殺処分が行われた。

#### 【疫学情報】

- 感染源を特定するための疫学調査が実施されており、結果が出ればイギリス当局より発表される 予定。
- ・ イギリスはBSEに関し警戒を続けており、公衆衛生及び家畜衛生を維持するため、飼料を通じた 感染を防ぐため家畜への動物性たんぱくの給餌を禁止し、消費者の健康被害を防ぐためと殺時の SRM(特定危険部位)を除去、BSEリスクレベルを監視し制御方法を定期的に確認する。

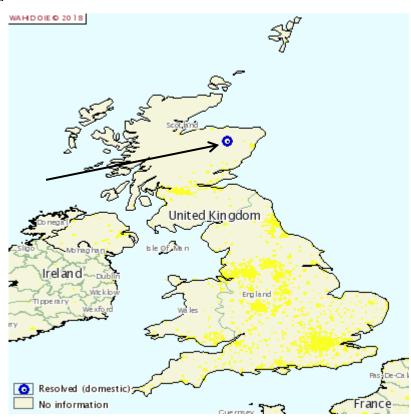
#### 【対応】

- ・トレーサビリティ
- ・当該動物由来製品の公的処理
- 死体、副産物及び廃棄物の公的処分
- ・患畜を治療対象としない

# 【診断】

[・診断施設:英国動植物衛生庁(0IEリファレンス研究所) ・診断方法:ウエスタンブロット:陽性(2018年10月18日)

# 【参考】発生地図



イギリス スコットランド アバディーン州 2018 年 10 月 2 日 牛 1 頭 定型